

# 全鉄連流通動態調査結果表 平成28年10月分

(28.11.21)

全国鉄鋼販売業連合会

品 種	地 区	前月在庫量		仕入量		販売量		当月在庫量		
		9月実績	前月比	10月実績	前月比	10月実績	前月比	10月実績	前月比	
異形棒鋼	東京	5,959	82.7%	56,802	108.4%	56,354	105.0%	6,407	107.5%	
	大阪	4,341	98.8%	26,143	94.8%	25,948	94.0%	4,536	104.5%	
	愛知	7,085	100.8%	2,928	96.0%	3,233	108.0%	6,780	95.7%	
	計	17,385	93.3%	85,873	103.4%	85,535	101.5%	17,723	101.9%	
形 鋼	山形鋼	東京	18,072	95.9%	11,122	132.0%	10,254	111.3%	18,940	104.8%
		大阪	16,385	93.6%	10,575	127.7%	10,362	110.2%	16,598	101.3%
		愛知	11,712	98.7%	7,466	113.5%	7,022	104.2%	12,156	103.8%
		計	46,169	95.7%	29,163	125.2%	27,638	109.0%	47,694	103.3%
	溝形鋼	東京	14,754	98.1%	7,341	118.9%	6,583	101.8%	15,512	105.1%
		大阪	10,542	93.2%	6,163	116.0%	6,426	105.6%	10,279	97.5%
		愛知	7,810	96.5%	4,264	91.6%	5,011	101.5%	7,063	90.4%
		計	33,106	96.1%	17,768	110.1%	18,020	103.0%	32,854	99.2%
	H形鋼	東京	22,198	89.1%	16,419	121.5%	16,946	104.5%	21,671	97.6%
		大阪	35,800	93.6%	29,371	110.7%	30,799	106.2%	34,372	96.0%
		愛知	18,674	90.9%	12,852	107.8%	13,623	98.8%	17,903	95.9%
		計	76,672	91.6%	58,642	112.8%	61,368	104.0%	73,946	96.4%
合 計		155,947	93.7%	105,573	115.5%	107,026	105.1%	154,494	99.1%	
コ ラ ム	東京	10,074	105.6%	3,472	92.9%	3,297	102.8%	10,249	101.7%	
	大阪	9,919	104.1%	4,905	105.2%	5,275	123.6%	9,549	96.3%	
	愛知	2,225	100.1%	985	82.8%	1,065	89.8%	2,145	96.4%	
	計	22,218	104.4%	9,362	97.6%	9,637	111.3%	21,943	98.8%	
軽量C形鋼	東京	3,700	108.9%	2,973	100.6%	2,853	107.5%	3,820	103.2%	
	大阪	3,025	95.9%	1,960	97.1%	1,798	83.7%	3,187	105.4%	
	愛知	2,720	92.5%	1,656	147.5%	1,675	124.5%	2,701	99.3%	
	計	9,445	99.5%	6,589	108.1%	6,326	102.9%	9,708	102.8%	
総 計		204,995	95.0%	207,397	109.1%	208,524	103.8%	203,868	99.5%	

(注) ①単位トン ②調査対象企業 東京31 大阪21 愛知15 合計67社

※この資料は経済産業省、鉄流懇関係者、報道機関のみ配布しています。

〔調査内容変更について〕

昭和48年4月より開始された本調査は、平成12年4月実績発表まで27年間同一フォーム内容で実施され、鋼材二次流通の実態を表す資料とされていた。しかし、この間に調査品目の中には流通性がなくなった品種、また、未調査品種ながら、市場性が高い品種など鋼材市場においてさまざまな品種の盛衰があった。そこで全鉄連常任理事会において、本調査の見直しが提議された。そして、平成12年5月分実績より従来の流通動態調査を改訂し、上記のとおり発表することとなった。

その変更内容は①調査対象品種にコラムを追加②調査対象品種よりプレーン、不等辺山形鋼、I形鋼、デッキ・キーストンを除外する③契約残調査を取り止める、以上3点である。また、本調査を「特約店流通動態調査」と称していたが、これを「全鉄連流通動態調査」と呼称変更した。これは調査機関である当会が全国鉄鋼販売業連合会に名称変更したことによる。また、平成13年5月実績をもって調査対象品種変更後1年が経過した。この間、暫定的な数量をもって時系列表及びグラフを作成していたが、それを改め月表の数値と一致するように改訂した。